

目 次

I. 総括研究報告

- 重点的な在宅栄養ケアに関する研究 ―効果的な介入方法の検証― ----- 1
榎 裕美 (愛知淑徳大学健康医療科学部)

II. 分担研究報告

1. 在宅療養中の高齢者を含む対象者に対する栄養評価法ならびに栄養状態の実態とそのアウトカムのシステマティックレビューに関する研究 ----- 6
葛谷 雅文 (名古屋大学大学院医学系研究科地域在宅医療学・老年科学)
2. 在宅療養中の高齢者に対する摂食嚥下障害評価法ならびに摂食嚥下状態の実態とそのアウトカムのシステマティックレビューに関する研究 ----- 12
榎 裕美 (愛知淑徳大学健康医療科学部)
馬嶋 真子 (愛知淑徳大学健康医療科学部)
3. 在宅療養中の高齢者を含む対象者に対する栄養療法ならびにその効果のシステマティックレビューに関する研究 ----- 18
武山 英麿 (愛知淑徳大学健康医療科学部)
4. 在宅療養中の高齢者を対象とした摂食嚥下障害への介入ならびにその効果 ---- 25
志村 栄二 (愛知淑徳大学健康医療科学部)
5. 終末期患者の栄養療法 (介入) は QOD に有効か? ----- 30
前田 恵子 (愛知淑徳大学健康医療科学部)
6. 重点的な栄養介入が必要な在宅療養者に対しての管理栄養士による効果的な栄養介入方法についての検証 ----- 35
榎 裕美 (愛知淑徳大学健康医療科学部)
馬場 正美 (善常会リハビリテーション病院)
中川 啓子 (とくしげ在宅クリニック)
豊田 典子 (東三河栄養ケアステーション)
安田 和代 (医療法人かがやき総合在宅医療クリニック)
熊谷 琴美 (ながお在宅クリニック・小笠原内科)

III. 研究成果の刊行に関する一覧表 ----- 39